

かに 可児市の紹介

人口 101,027人

世帯 40,357世帯

平成28年4月1日現在



7 可児市議会

世界一のバラ園

花フェスタ記念公園



美濃桃山陶の聖地

信長・秀吉時代の茶の湯文化を牽引



森蘭丸の所縁の地

森蘭丸の甲冑・国史跡美濃金山城跡



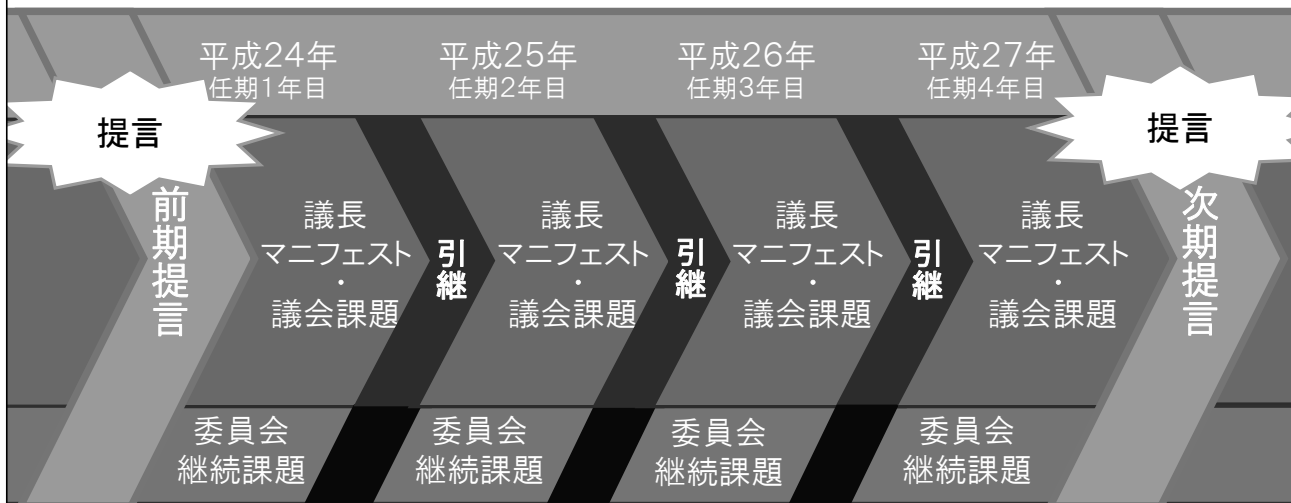
1

可児市議会の取り組み

アイデンティティ → 気づき
インスピレーション → ひらめき
アクティビティ → 行動力
コミュニケーション → 相互理解
インプメンテーション → 実施
レギュレーション → 規定

平成27年5月27日バラ議会初日

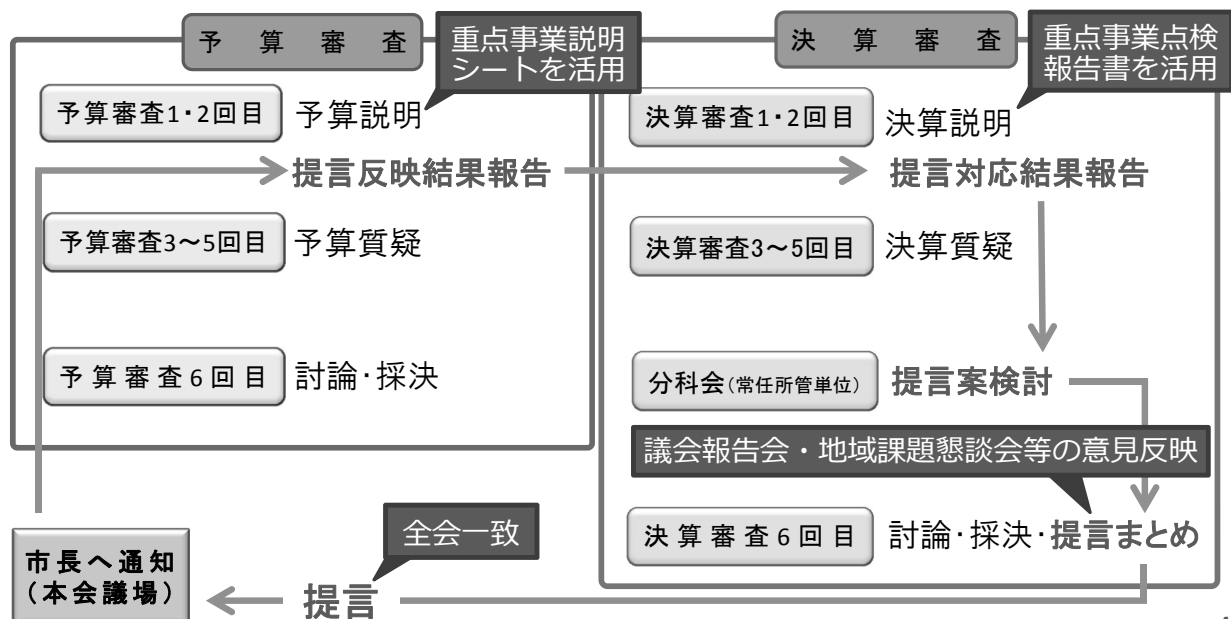
議会運営サイクル



3

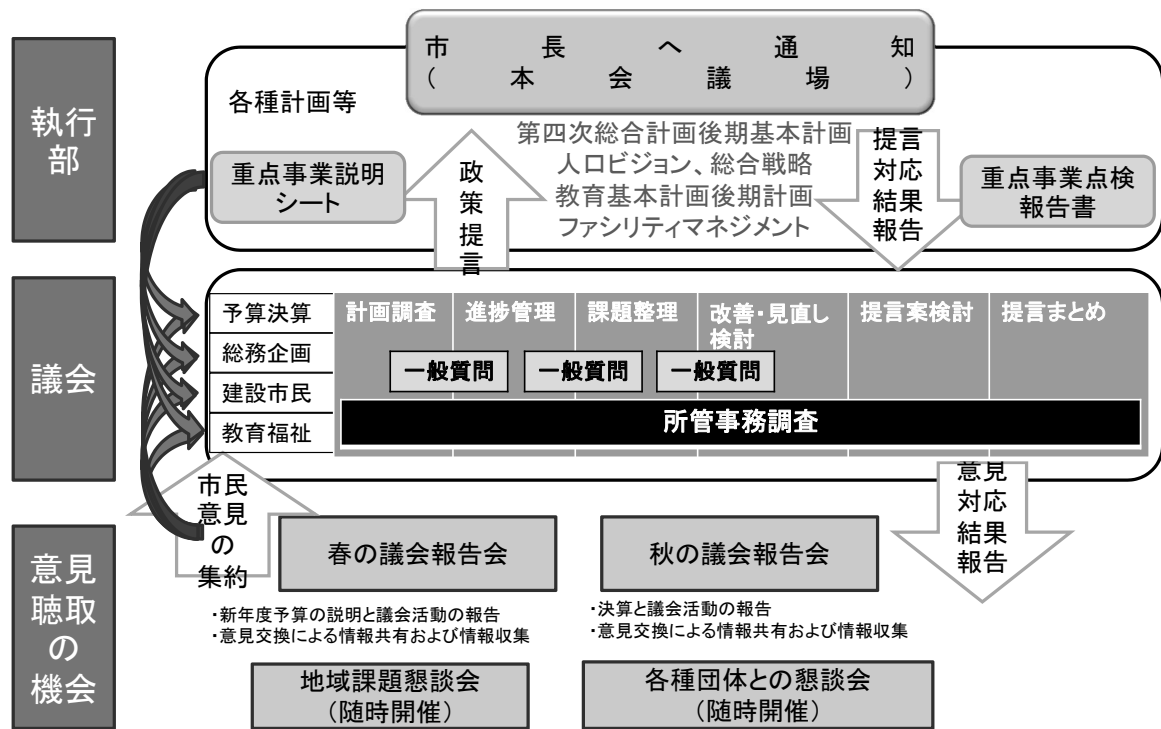
予算決算審査サイクル

予算決算委員会：議員20人で構成(議長・監査委員を除く)



4

政策サイクル



地域課題懇談会(高校生議会等)

第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

(1) 市民 市内に居住し、通勤し、通学する個人又は市内で活動する団体をいう。

第3条 議会は合議制の特性を生かし、民意を代表する議員の議会活動を通じて、市民の多様な意見を集約し、市政に適切に反映させることを使命とする。

2 議会は、前項の使命を果たすために、次に掲げる原則に基づき、活動しなければならない。

(1) 公正及び透明性を確保し、市民に対して開かれた分かりやすい議会運営を行うこと。

(2) 市長等による市政運営が適切に行われているかを監視し、評価すること。

(3) 市民の多様な意見を的確に把握し、これを市政に反映させるために必要な政策提言、政策立案等を行うこと。

(4) 市民の意思を尊重するため、市民参加の機会拡充に努め、情報公開を行うとともに、議会の議決及び運営に対して、その経緯及び理由を説明する責任を果たすこと。

3 議会は、専門的知見の活用並びに政策提言等に必要な研修及び視察の実施により、議会の機能強化に努めなければならない。

地方都市の悩み…

多額のコストを
投入した人材

▶ 若い世代の都市部流出



高校・保護者

▶ 地域の担い手の減少



▶ 地方都市の衰退

7

大人 × 若い世代(高校生)

➡ 可児市の魅力を知る場

- ▶ 地域への愛着や当事者意識の醸成
- ▶ 広い視野や新しい経験の獲得
- ▶ 社会や学問のつながりの実感 など



ふるさと発展に寄与する人材育成



地域課題解決型キャリア教育

8



「地域課題懇談会(高校生議会)」

目的：各種団体等の協力を得て、**若い世代の意見を聞く機会**を設け、地域の活性化や課題に取り組むことで、**地域の担い手育成**に繋げていく。

内容：議会主催のキャリア教育支援の取り組みを地域課題懇談会（高校生議会）として実施

流れ：キャリア教育(地域課題懇談会等)

高校生議会（議場での活動報告）

現状：地域課題懇談会実施会議を会議規則内に位置付け(H27.6)し、**議会活動**として取り組む体制整備を行っている。また、支援NPOとの連携強化を図っている。

9

地域課題に若い世代が関わる機会を設けることについての意見書

私たちは、可児高校の地域課題解決型キャリア教育「エンリッチプロジェクト」に参加し、可児市長、職員の方、地域の方、医療関係者など様々な職種や経験を持った方たちとの関わりを通して、気づきや発見をたくさんいただきました。そして、私たちを迎えて下さった皆さまから「地域をよくしていこう」という深い想いを感じ、想いを受け継ぎ、地域の未来を担えるよう、今を頑張ろうという意欲が高まりました。私たちのような体験を積み重ね、若者は元気になり、自然に「**将来は地元で暮らそう**」「**地元のために何かしていこう**」という気持ちになります。そして、このような機会を充実すれば、可児市はきっと、若い力が集まる、より魅力的なまちへと発展を遂げると思います。

以上のことから、次の二点について要望します。

記

1. 医療や福祉、介護を始めとした地域の課題を、『大人』の皆さまが立場を越えて共有し、話し合える『場』を設けること。
2. 地域の課題を話し合う『場』に、高校生はもちろん、大学生や中学生など多くの世代が参加できるようにすること。

平成26年2月10日

岐阜県立可児高等学校
代表者

可児市議会 議長 川上 文浩 様

地域課題懇談会（平成26年7月12日 職員11名・医師9名・議員19名・生徒23名）

- ・地元医師会の協力を得て、可児市議会が主催。
- ・医師会長の講演会と『健康づくり』をテーマに意見交換を実施



医師会長による講演



討議結果発表



議長講評

11

2015.11 総務省、文部科学省が高校生向け副教材
及び教員用指導書を発行



- ・ディベートや模擬選挙の進め方
- ・投票や選挙運動のルール
- ・学校での政治的中立を確保するための注意点等

<高校側>

- ・時間がない……
- ・教えられるスキルがない……



可児市議会が
開催する形では
どうか？

ぜひお願いします！！

私たちが拓く
日本の未来

有権者として求められる力を
身に付けるために

活用のための
指導資料

私たちが拓く
日本の未来

有権者として求められる力を
身に付けるために
活用のための
指導資料

12

地域課題懇談会打合せ（平成27年11月13日・12月6日開催 選管・議員・NPO・生徒）

- ・開催前に、希望生徒を中心に選管職員、議員を交えて2回の打合せを開催。
- ・選挙に対する疑問点洗い出しや出前講座の意見交換の課題設定、進行方法を決定。



生徒を交えての打合せ(打合せ①)



生徒主導による疑問点洗い出し(打合せ①)



生徒を交えての打合せ(打合せ②)



意見交換の進行方法確認(打合せ②)

地域課題懇談会（平成27年12月10日開催 市長・選管4名・議員17名・NPO5名・生徒36名）

- ・18歳選挙権を課題に可児高校にて初の出前講座として議会主催により開催。
- ・市長及び市選挙管理委員会、NPO緑塾の協力を得て、講演と意見交換を実施。
- ・意見交換は『どうしたら選挙に行くのか』をテーマに実施し、生徒が発表。



市長による講演



議会改革特別委員長による講演



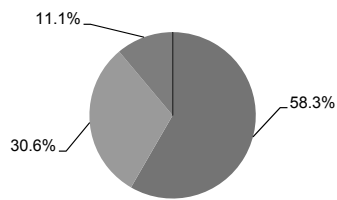
市長・選管・NPO・議員・生徒による意見交換



生徒による発表

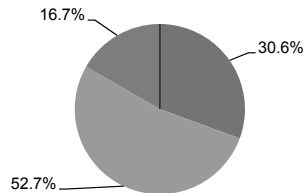
地域課題懇談会出前講座アンケート結果

視野が広がり、理解が深まり、参加してよかった



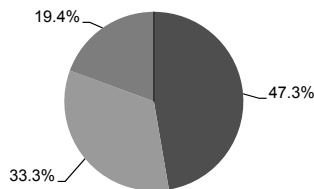
■ とてもあてはまる	21名
■ あてはまる	11名
■ どちらかというあてはまる	4名
■ どちらかというあてはまらない	0名
■ あてはまらない	0名
■ まったくあてはまらない	0名

社会・政治・選挙が、より身近に感じられるようになった



■ とてもあてはまる	11名
■ あてはまる	19名
■ どちらかというあてはまる	6名
■ どちらかというあてはまらない	0名
■ あてはまらない	0名
■ まったくあてはまらない	0名

自分の将来や日頃の生活について、より深く考えるヒントになった



■ とてもあてはまる	17名
■ あてはまる	12名
■ どちらかというあてはまる	7名
■ どちらかというあてはまらない	0名
■ あてはまらない	0名
■ まったくあてはまらない	0名

全ての参加生徒が
あてはまる傾向
という結果に!!

政治・選挙を身近に
感じる機会作りが
参政意識の醸成
につながる可能性

**10代・20代の
投票率アップ**

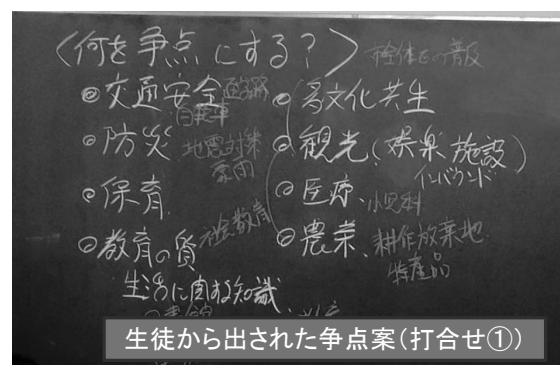
投票率の底上げ

15

模擬選挙打合せ（平成28年1月14日・1月22日・2月15日・2月3日・3月10日開催 選管・議員・生徒）
・学校主催の模擬選挙に対して、打ち合わせ、マニフェスト作成などの支援を実施
施マニフェスト作成では、争点案の抽出とマニフェスト案検討に高校生が参加。



生徒を交えての打合せ（打合せ①）



生徒から出された争点案（打合せ①）



生徒を交えての打合せ（打合せ②）



候補者ごとのマニフェスト検討（打合せ②）

16

模擬選挙立候補演説会（平成28年2月19日開催 選管・NPO関係者・議員・生徒）

- ・学校主催の模擬選挙に先立ち、3名の候補者（NPO関係者等）が演説会を開催。
- ・1、2年生全員が参加し、選挙公約を見ながら演説を聞き、模擬選挙に備えた。



生徒代表者による趣旨説明



選挙公約の争点を説明



本番同様にくじ引きで順序決定

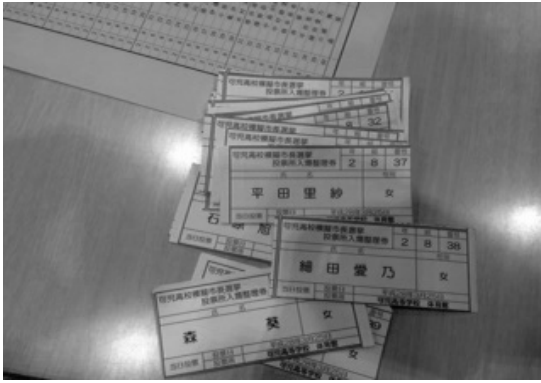


立候補者が生徒を前に演説

選挙公報および選挙ポスター作成

- ・立候補演説会での選挙公約をもとに各候補者と支援担当の議員が選挙公報を作成。
- ・1、2年生全員に配布し、マニフェスト検証、模擬選挙に向けて各生徒が事前学習を実施。





マニフェスト検証・模擬選挙（平成28年3月25日開催 選管・NPO関係者・議員・生徒）7 可児市議会

- ・候補者のマニフェスト検証をグループ形式での意見交換を通じて「選ぶ力」を養う。
- ・意見交換を基に各生徒が投票を実施。また、選管職員が投開票の解説を実施。



生徒代表者による趣旨説明



投票の「ものさし」を議員が説明



1・2年生全員がグループで選挙公約を検証



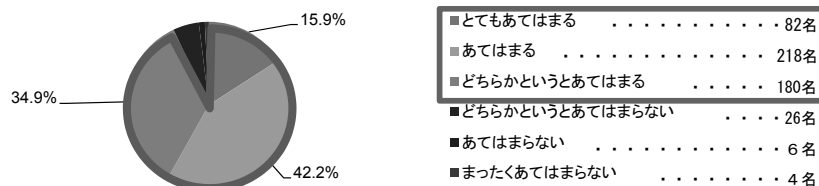


生徒会関係者による開票



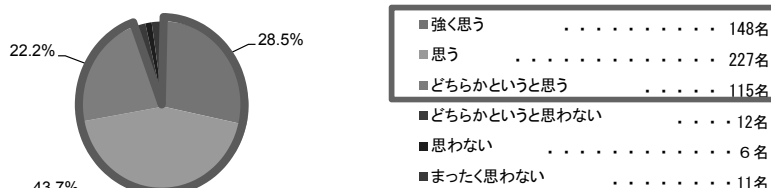
候補者名	得票数
角野 仁美	123票
大雅 嶺広	252票
山口 海斗	192票

模擬選挙に参加して社会・政治・選挙が身近に感じられるようになった



93.0%

模擬選挙に参加して、選挙に行くべきだと思いましたか

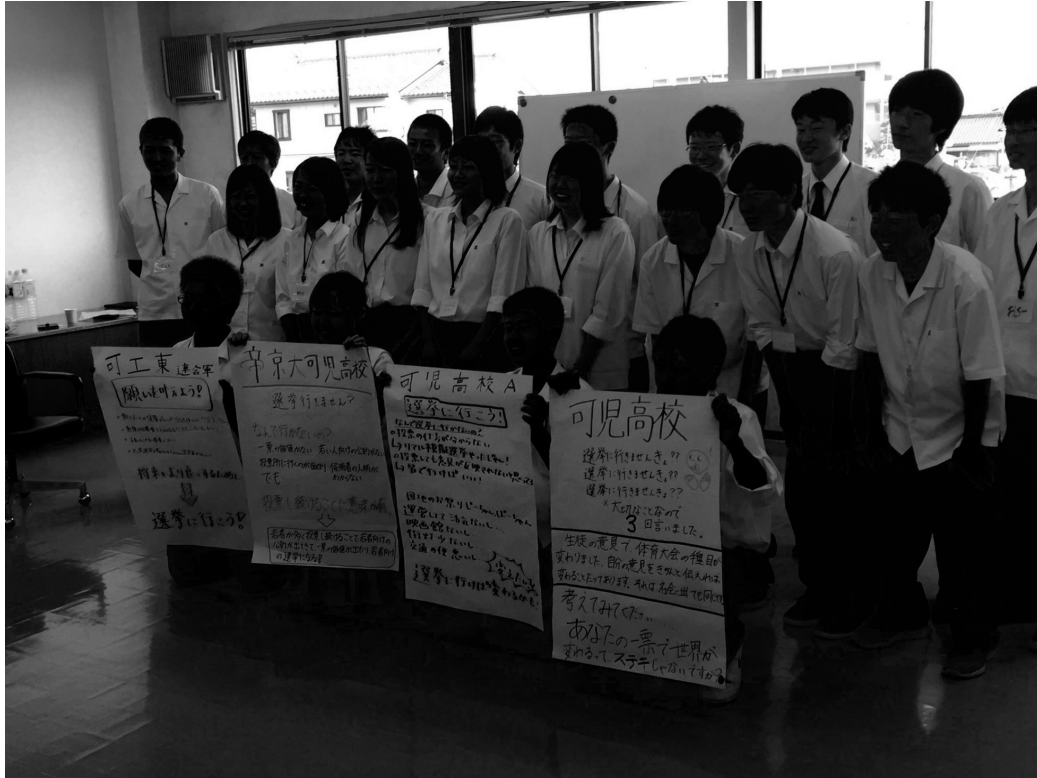


94.4%

模擬選挙を通じて、マニフェストに触れ、議会・議員の役割を考える機会となった。

選挙管理委員会による18歳選挙権導入に伴う出前講座等の状況について

1. 可児工業高等学校
2. 帝京大学可児高等学校
3. 市内高等学校生徒による意見交換会「高校生ワールドカフェ」

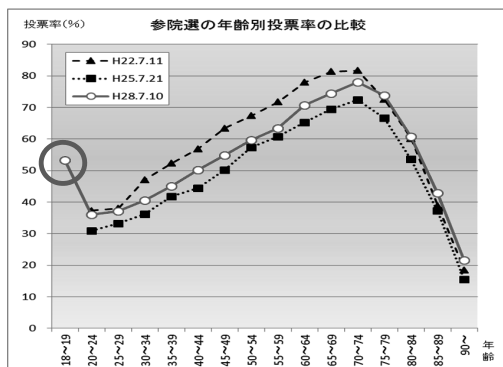


25

H28参議院議員通常選挙の結果について

【全体投票率】

	全国	岐阜県	可児市
H22.7.11	57.92%	59.75%	61.74%
H25.7.21	52.61%	52.97%	52.38%
H28.7.10	54.70%	57.74%	57.52%
H25→H28の上昇率	2.09	4.77	5.14



年齢 (5歳区分)	前回	順位	今回	順位	前回から の向上率
18～19	—	—	53.30%	9	—
20～24	30.94%	14	36.11%	15	5.17
25～29	33.23%	13	37.08%	14	3.85
30～34	36.25%	12	40.56%	13	4.31
35～39	41.73%	10	45.05%	11	3.32
40～44	44.48%	9	50.24%	10	5.76
45～49	50.23%	8	54.84%	8	4.61
50～54	57.30%	6	59.61%	7	2.31
55～59	60.73%	5	63.39%	5	2.66
60～64	65.26%	4	70.76%	4	5.50
65～69	69.49%	2	74.42%	2	4.93
70～74	72.47%	1	77.93%	1	5.46
75～79	66.65%	3	73.86%	3	7.21
80～84	53.58%	7	60.69%	6	7.11
85～89	37.33%	11	42.81%	12	5.48
90～	15.57%	15	21.54%	16	5.97
計	52.38%		57.52%		5.14

26

【18・19歳の投票率】

H28全国(抽出速報)		H28岐阜県(確定)		H28可児市(確定)	
18歳	51.17%	18歳	52.90%	18歳	57.26%
19歳	39.66%	19歳	45.05%	19歳	48.96%
計	45.45%	計	49.01%	計	53.30%

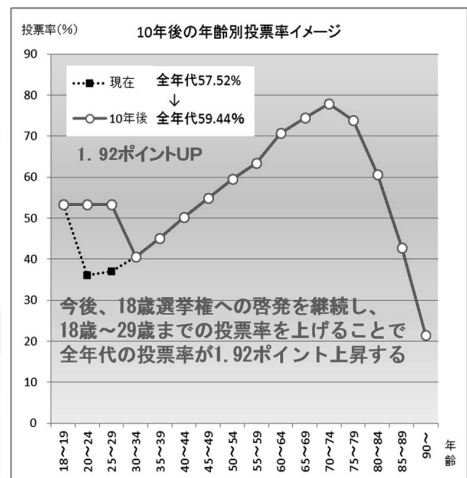
全国+5.99pt
県 +4.36pt
全国+9.30pt
県 +3.91pt

(現在)

	当日有権者数	投票者数
全体	79,593	45,785
18・19歳	1,923	1,025
全体に占める 18・19歳の 割合	2.42%	2.24%

(10年後の想定)

	当日有権者数	投票者数
全体	79,593	47,995
18～29歳	11,055	5,892
全体に占める 18～29歳の 割合	13.89%	12.28%



選挙戦進むと投票意欲

投票行く・行きたい58%→行った83%



参院選 岐阜の2高校180人、本社アンケート

た。岐阜県可児市の県立可児
高校と、岐阜市の私立岐阜
聖徳学園高校の協力を得
て、両校の生徒計186人
に、計4回、無記名のア
ンケートをした。欠席者
を除く177人中183人か
ら回答を得た。

は57%に上がった。
岐阜聖徳学園では6月、
教員が候補者に扮した討論
会を開いたり、模擬投票を
したりした。可児では今年
3月に生徒の希望で模擬市
長選挙を実施した。こうした
主催者教育を含め、学校の
学びの成果について4回
目に尋ねると、今回の参院
選で「大いにきた」「あ
る程度生きた」が合わせて
68%を占めた。

若者の投票率を上げる方
策について、自由記述で答
えてもらったところ、「高
校で模擬選挙をする機会が
大切」「投票しなければ何
も変わらないことを認識す
る」などの意見があった。
(可児市)

左記2高校のアンケート回答者186人内訳

【岐阜聖徳学園高校生徒】
95人中72人 が 投票

投票率 75.8%

【可児高校生徒】
87人中79人 が 投票

投票率 90.1%

※岐阜聖徳学園高校の取り組み
高校教諭が候補者となつての模擬投票

積極的な主権者教育の必要性

朝日新聞2016.7.17

議会 × 子育て世代

➡ 子育て支援を核とした地域づくり

- ▶ 同世代、世代間交流
- ▶ 過疎対策
- ▶ 高齢者問題

など



ふるさと発展に貢献する人材育成



地域課題解決型キャリア教育

29

ママさん議会ワークショップ（平成28年7月24日 子育て世代の女性10名・高校生3名）

- ・ 8月23日に開催予定のママさん議会の企画会議として開催。
- ・ 高校生がファシリテーターとなり子育て世代の女性とともに可児市の子育て環境や、駅前に建設予定の拠点施設に関する意見交換を実施

議会基本条例による「多様な意見」の把握



高校生



高校生



駅前拠点施設模型



意見交換結果発表

30

ママさん議会（平成28年8月23日 市長・職員2名・議員18名・子育て世代の女性27名）

- ・子育て拠点施設の運営に関する意見交換ワークショップを行い、まとめた結果を報告。
- ・子育て世代の女性の声を聴く機会をもうけることについての意見書を提出



選挙権 @18歳

可児高模擬選挙 あす投開票

可兒高模擬選舉

市長選 立候補者



「無関係ではない」けど「実感わかない」

[illegible]

有権者 関心どのくらい？

七月の参院選から選挙権年齢が十八歳以上に引き下げられるのを前に、可児

だった。

市選管の協力を得て、学校には本物のポスター掲示板を二カ所に置いた。各候補の公約を記した選挙公報も、本物の体裁に。生徒たちから「本物の選挙みたいじゃん」という声があがった。

の課外活動などとして、自
主的に参加した二、三年の

生徒に、少子高齢化や防災（こは、杉田さんと同様に
といった可児の課題を調べ、「自分の一票だけで、社会

てもらった。市議会の協力が変わるとは思わない」と
を得て、生徒たちは議場で語る。やはり、友だちや家

自分の課題を発表。次第に族とも、政治の話をした経
市議会との協力関係も深ま 験はない。

り、生徒と議員の意見交換の機会も増やしてきた。

一五年六月に選挙権年齢「書館」や「子育て支援」と引き下げが決まり、浦崎教といった公約を聞くうち、

論に十二月、生徒たちに棲一書分も図書館を使ひて、擬市長選の実施を提案。こいずれ子どもも産むかも知れまふの市議会に文を流して、一と想ひを巡らす、

同様、希望する生徒のみ参「政治や選挙は、自分たち
加さざるつもりだったといの生活と無関係ではない」

う。が、生徒会長の二年田とは感じたという。口裕斗さんから「二部の人」「自分は大人みたいに長

だけがやるのでは意味がなく生きてないし、考えられない。政治は全員に関係することにも限界がある」と

話だ」と言われたのを機 思うけど、模擬市長選で二
に、一、二年全員参加に方 票を託そうと思う候補は、

針を交えた。既に決めたという。

◇

候補役の大学生ら三人の

公約づくりに、議員が助 七月の参院選から、選挙
言。自習室付きの新図書館 権年齢が十八歳以上に引き

の整備や子育て支援充実など、下に行われる。若者と政治や選挙をめぐる話題を随時、取り上げます。

わそお鼻たる三にしか 幸していきまて

33

ご清聴ありがとうございました



海士町観光協会の青山さん
とキャリア教育先進地の
海士町視察にて

34